

《活動報告》

Kyoto University Ancient History Seminar,
26 September, 2025

大 野 普 希

9月27日、28日に行われたアフロディシ阿斯に関するコロキウムの開催に合わせ、筆者と藤井崇准教授の共催で、博士論文取得前後の若手研究者が研究成果を報告する場として Kyoto University Ancient History Seminar を開催した。アフロディシ阿斯発掘調査隊のメンバーをはじめ国内外から集まった多くの参加者の前で、5名の報告者が発表を行なった。以下に各報告の概要を記す（次頁にプログラムを添付）。

氷見野夏子准教授（東北大学）は、ピサ高等師範学校に提出した博士論文の成果をもとに、「サルスティウスの庭園」（Horti Sallustiani）の空間としての利用の通時的変遷を画像資料の分析から明らかにした。オックスフォード大学の博士課程に在籍するジェイムズ・フア（James Hua）氏の報告は、アルカイック期及び古典期における共同体単位での大規模な追放、強制移住の諸事例に着目し、追放された人々の追放後のアイデンティティの表現を、碑文史料から分析するものであった。小島敦氏（名古屋大学博士課程）は、エラトステネスの著作 *Catasterisms* における語彙や表現の分析から、エラトステネスが暗にプトレマイオス4世を批判している可能性を指摘した。オックスフォード大学博士課程在籍のセオドロス・マジス（Theodoros Mazis）氏の報告は、主として陶器に描かれたセイレンに注目して、古代ギリシア人の象徴世界におけるセイレンと女性との様々な結びつきを明らかにするものであった。最後に筆者（京都大学大学院文学研究科博士課程）自身の報告では、パウサニアスの『ギリシア案内記』におけるギリシア本土外の諸地域に関する記述を取り上げ、パウサニアスがギリシア世界とその外部の関係をどのように理解していたかを検討した。

以上のように、5つの報告は扱う時代・地域も様々で、参照する史料も文献史料から碑文、美術作品に至るまで多岐に渡ったが、質疑応答やその後の懇親会では分野を超えた活発な議論が展開され、古代に関わる研究の多様性と一体性を改めて確認する意義深い機会となった。

Kyoto University Ancient History Seminar

26 September, 2025

Department of European History
Graduate School of Letters, Kyoto University

14:00 – 14:05 Fuki Ono (Kyoto University)

Opening Remarks

14:10 – 14:55 Natsuko Himino (Tohoku University)

A Favored Residence of the Emperors: Topography and Ornamentation in the Horti Sallustiani

15:00 – 15:45 James Hua (University of Oxford)

Population Expulsions and Exiles in Archaic-Classical Greece, from the Epigraphic Evidence: Between Historical Reality and Identities in Exile

15:50 – 16:35 Atsushi Kojima (Nagoya University)

Eratosthenes' Catasterisms and Ptolemy IV

Break

17:00 – 17:45 Theodoros Mazis (University of Oxford)

Where Sirens Dare: Exploring the Symbolism of Sirens and Their Ties to the Ancient Greek Female World

17:50 – 18:35 Fuki Ono (Kyoto University)

Regions outside Mainland Greece in Pausanias

Invited Commentators: Angelos Chaniotis, Christopher Hallett, Ine Jacobs, Julia Lenaghan, Ben Russell, and R.R.R. Smith

Venue: Clock Tower Centennial Hall, Conference Room IV

Organisers: Fuki Ono and Takashi Fujii

JSPS KAKENHI 21KK0214 and 22K00939

Contact: Fuki Ono (ono.fuki@gmail.com)



京都大学
KYOTO UNIVERSITY